

# 栃木県防災士会だより

2017.8 Vol. 004



発行日 2017年8月吉日

発行者 特定非営利活動法人 栃木県防災士会

責任者 理事長 稲葉 茂

防災士認証登録者数 平成29年7月末日現在

全国 132,921名 栃木県 2,206名

## ◆栃木県内の防災士取得者が急増、若い世代にも！

読売新聞 [2017.6.3付] に防災士の記事が掲載されました。

2016年度の防災士取得者が県内で323人となり過去最高を記録したと書き綴られていました。

日本防災士機構から防災士養成事業参加法人の認証を受けた作新学院大学が講座を開設した事もあり、若い世代に防災意識が高まってきたのではとも。

年月	登録者数
2007.08.09	100
2007.10.11	200
2007.12.13	150
2008.01.14	250
2008.03.15	300
2008.05.06	250
2008.07.08	350
2008.09.10	250
2008.11.12	300
2008.12.14	350
2009.01.15	300
2009.03.06	350
2009.05.08	300
2009.07.10	350
2009.09.11	300
2009.11.13	350
2009.12.14	300
2010.01.15	350
2010.03.06	300
2010.05.08	350
2010.07.10	300
2010.09.11	350
2010.11.13	300
2010.12.14	350
2011.01.15	300
2011.03.06	350
2011.05.08	300
2011.07.10	350
2011.09.11	300
2011.11.13	350
2011.12.14	300
2012.01.15	350
2012.03.06	300
2012.05.08	350
2012.07.10	300
2012.09.11	350
2012.11.13	300
2012.12.14	350
2013.01.15	300
2013.03.06	350
2013.05.08	300
2013.07.10	350
2013.09.11	300
2013.11.13	350
2013.12.14	300
2014.01.15	350
2014.03.06	300
2014.05.08	350
2014.07.10	300
2014.09.11	350
2014.11.13	300
2014.12.14	350
2015.01.15	300
2015.03.06	350
2015.05.08	300
2015.07.10	350
2015.09.11	300
2015.11.13	350
2015.12.14	300
2016.01.15	350
2016.03.06	300
2016.05.08	350
2016.07.10	300
2016.09.11	350
2016.11.13	300
2016.12.14	350
2017.01.15	300
2017.03.06	350
2017.05.08	300
2017.07.10	350
2017.09.11	300
2017.11.13	350
2017.12.14	300

## ◆宇都宮市陽東地区防災訓練のお手伝い

期日：平成29年5月14日 於：市立陽東小学校体育館

主催・参加団体：陽東地区連合自主会、自主防災会、婦人防火クラブ 参加者：約100人

毎年行われている訓練で、地元の林氏（防災士会 理事）が根気よく丁寧に指導を重ねているイベントです。私自身が参加するのは3回目でした。先ずは林理事からの防災講話。引き続き各地区ごとに班を構成し「自動体外式除細動器 AED の使用訓練」、「防災機器の取り扱い体験」、「防災グッズづくり」等々のコーナーを順に廻って防災知識を高めたり、確認したり。一方では実際に防災機器に触れ、災害を身近に感じてもらうという趣向でした。今回も小学校入学前の子ども達からご年配の方々まで参加され熱心に、また楽しみながら活動していました。このように繰り返し訓練を実施する事で地域コミュニティが育まれ、災害時には大きな力になるものと感じました。最後に、イベントに参加していた「婦人防火クラブ」の方々の炊き出しで『カレーライス』が参加者全員に振る舞われ、子ども達の活気に満ち溢れた笑顔が印象的な訓練となりました。



## ◆放課後活動指導者研修に於いて DIG を実施

期日：平成 29 年 7 月 13 日 於：栃木県総合教育センター 408 研修室  
主催：栃木県教育委員会 参加者：各地区の指導者及び県担当部署スタッフ 94 名

放課後活動指導者とは「放課後等に子ども達が安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援する事を目的とした指導者」との話でした。

第一部は稻葉理事長が「もしもの時に落ち着いて～子どもを守る危機管理～」というテーマで講演を行いました。第二部の「気象庁ワークショップ(水害 DIG)」では防災士 5 人が指導・支援にあたりました。参加者は 8 割ほどが女性の方々といった状況で、それぞれが 11 班に分かれワークショップ形式で DIG が始まりました。ここでも「女性活躍の加速・拡大」が浸透してきているのかも？

話を研修会に戻しますが、参加者は社会貢献活動を先頭に立って実践している方々ばかりなので、最初から積極的な意見が飛び交い熱のこもったワークショップとなりました。会場は専門家の福田氏（理事）から「刻々と変わる災害状況」や「注意報」、「警報」が発せられ緊迫した雰囲気に包まれる。参加者はやがて襲い掛かるだろう洪水や土砂災害等々を想定し、安全な避難方法や対策を各班内でブレーンストーミング。ある班では東日本大震災や関東・東北豪雨災害の鬼怒川水害の教訓を回想しながら、我が事として避難計画を立案していたようだ。各班の成果発表も素晴らしい内容でした。これを機に、地域減災力を向上させて地域の子供たちの「災害で命を落とさない・落とさせない行動」へと繋がっていくものと確信できた研修でした。



## ◆難所運営ゲーム (HUG) を主導及びアドバイス

期日：平成 29 年 7 月 28 日 於：真岡市公民館西分館  
主催：芳賀郡公立小中学校事務職員研究協議会 参加者：約 50 名

同協議会は平成 29 年度の研修テーマを「つなごう！芳賀の『わ』 “和をもって協働し、連携の環を広げよう”」と設定し活動されておられるそうです。今年度は全 4 回の研修会を企画。今回は「災害時に備える～避難所運営ゲーム(HUG)～」というテーマで研修会を企画され、今回が 3 番目の研修会との事。防災士会として 6 名が HUG 訓練の指導にあたりました。後日、研修会を計画された阿久津研修部長様からお礼のメールと写真が届きましたので、原文のままでご披露させていただきます。



稻葉 茂様

大変お世話になっております。

7月28日のHUG研修におきましては、お忙しい中、何かとお骨折りいただき、ありがとうございました。おかげさまをもちまして、無事に有意義な研修会を開催することができました。全員が初めての経験でしたので、参加者からは「大変だった」「難しかった」という感想が多かったものの、いろいろなことにも気付くことができたようです。私自身も、避難者それぞれが抱える事情への配慮や避難所で起こる様々な出来事への対応をグループのみんなで考えることは、子どもが抱える事情に配慮したり学校行事や危機管理について教職員全員で協議することに似ており、日常の業務に相通ずるものがあると感じました。また、私が勤務する学校は避難所として開放するにあたってのガイドラインが全く定まっておらず、その必要性も実感したところです。参加者の感想をまとめたものを添付しますので、ぜひご一読ください。

当日お出でいただきました 豊田様、喜内様、安部様、黒須様、大橋様、田崎様 には、熱心にご指導いただき感謝申し上げます。直接お目にかかるお礼を申し上げるべきところですが、メールにて失礼いたします。

まだまだ暑い日が続きますが、お体には十分ご留意ください。稻葉様をはじめ皆さま方が、これからもますます活躍されますことを祈念申し上げ、お礼のご挨拶に代えさせていただきます。  
誠にありがとうございました。

芳賀郡市公立小中学校事務職員研究協議会 研修部長 阿久津和恵

«感想を纏めたシートは省略させていただきました»

### ◆教員免許更新講座で『DIG・HUG』訓練を実施

期日：平成29年8月4日 於：作新学院大学 中央研究棟2F  
主催：作新学院大学 参加者：51名

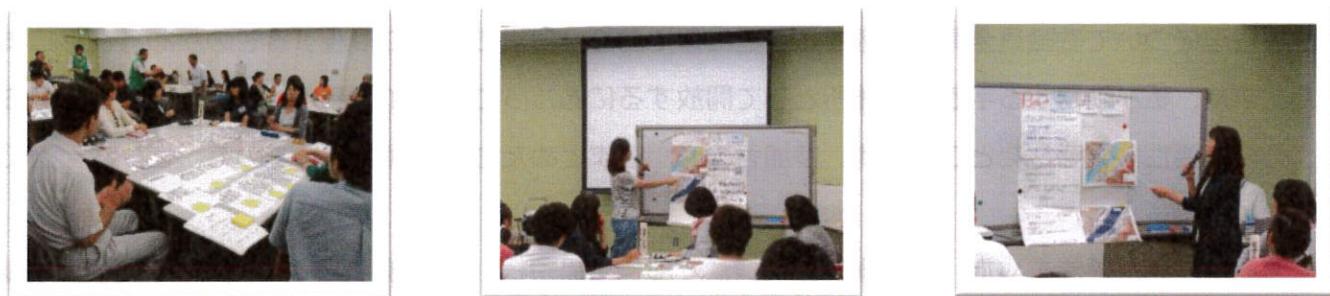
昨年に続き教員免許更新の選択領域講習の一つである「学校教育における防災減災意識の向上と取組み」という講座が開設され、防災士会からは稻葉理事長はじめ7名が支援スタッフとして参加。

対象は幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員の方々。講座は気象災害の図上訓練（D I G）と避難所運営ゲーム（H U G）で構成され、それぞれが6班に分かれワークショップ形式でスタートしました。講義に先立ち、稻葉理事長から参加者に対して「ハザードマップを実際に見た事のある方は」と質問を投げかけたところ、見た事があるとの回答は概ね6割程度でした。昨年9月の「関東・東北豪雨」や各地で頻繁に起こる台風・集中豪雨による災害などで自然災害に対する危機意識が高まっていると言われ



ていますが、現実はまだまだかなと考えさせられた瞬間でした。

何はともあれ「気象庁ワークショップ」を進めて行きましたが、この講座には積極的に参加された方々ばかりという事で、福田専門家が説明される「減災のための対策や提言」を真剣な表情で聞き入っていた。それぞれの班でディスカッションした結果を発表するステージでは、各班ともしっかりとした考え方をもってスピーチしておりましたので私達スタッフも安堵の胸を撫で下した次第です。「避難所運営ゲーム」に移り、最初は戸惑っているように感じ取れましたがカードを読み上げるにつれ、要領を理解したようで各班とも活発な意見を交わし、時折楽しく会話しながら、避難所運営の実践力を身につけていたようです。



#### ◆平成29年度栃木県危機管理研修にて「D I G」「H U G」を教導

期日：平成29年8月9日　　於：栃木県庁 8F危機管理センター

主催：栃木県民生部危機管理課　　参加者：44名

研修会の参加者は各市町及び県の危機管理担当新任者 44名です。日常から危機管理の業務に携わっておられる方々という事になります。

研修に先立ち「DIG 訓練」や「避難所運営ゲーム」を経験された方は?との質問を投げかけた結果は、参加者全員が初めてという想定外の回答（私たち防災士が活動する場がたくさん設けられているという事ですかね?）。

兎にも角にもワークショップでの研修はスタート。訓練が始まると事前の予想は見事に覆され、参加者の皆さんからの素晴らしい発想がたくさんテーブル上に！日頃から防災に携われておられる方々だと感心させられた次第です。各班の発表では「地図外地区への避難を検討した」、「近所への声掛けをして避難準備を急がせた」、「ハザードマップと実際に歩く避難経路とでは雰囲気的に違いがあるので、避難者に細心の注意を促した」といった事も述べておりました。最後は福田専門家からのアドバイスを多くの参加者が真剣に書き留めるなど、価値ある研修会が出来たと思いました。



## ◆第一回 自主防災組織リーダー育成研修会に参加

期日：平成29年8月18日 於：矢板市文化会館 小ホール  
主催：栃木県民生部消防課 参加者：40名

今回は女性目線での研修会レポートをお二人にお願いしました。

先ずは吉澤朋子防災士のレポートです。

地域の自主防災組織を主導するリーダーを育成するため、県南、県央、県北と3カ所で実施している研修会の第1回目です。主に自治会長さんが参加することで、昨年までは女性も何人かいたようですが今回参加した40名は全員男性でした。午前中はHUG、午後はDIGと2部構成で行われる計5時間の研修で、しかも研修会としては2日目となる長時間のものでしたが、皆さん疲れた顔も見せず、和気あいあいとした雰囲気の中で避難所の運営や災害時の対応について積極的に意見をかわしていました。さすがに日頃から主導的な立場の方たち、次々と出てくる事案にも臨機応変な対応をとり、意識的に女性や幼児、高齢者等への視点を盛り込んでいました。普段からの準備や日頃のコミュニケーションの大切さを確認できたとの意見もあり地域のリーダーとして活躍されることと思います。

続いて星宏子防災士のレポートになります。

リーダー育成研修会に女性の参加者がいなかつたのが残念でした。HUG研修も女性の意見が反映されなければならず、男性との意見の違いもありますが、様々な意見をまとめることにより、考え方の幅が広がると思います。地域の中に女性のリーダーがいることで、より安心・安全な避難所運営ができると思います。カードには個人情報が明記されているため、避難所の居場所の判断がしやすくなっていますが、実際災害が起きたときには情報がない中で素早く対応しなければなりません。自治体では避難行動要支援者の把握を進めていますが、その情報をどのように自主防災組織や自治会長につなげるのか。また、目に見えない障がいを持たれている方、アレルギー症を抱えるお子様など配慮が必要な方の支援をどのようにするのか、課題はたくさんあります。そういう課題一つ一つを地域で話し合いながら解決できるといいと感じました。

◆参加・支援したその他のイベント及び研修会

主催 or 企画	イベント名	場所 (会場)	内 容
05月15日 作新学院大学 連続公開授業	第2回 危機管理(リスクマネジメント)の目的 防災・減災とは? 危機管理の必要性等	作新学院大学第2教室棟	講師 稲葉理事長
05月22日 作新学院大学 連続公開授業	第3回 危機管理(リスクマネジメント)による効果 災害発生の仕組み、災害防止へのアプローチ	作新学院大学第2教室棟	講師 稲葉理事長
05月29日 作新学院大学 連続公開授業	第4回 災害時危機管理の具体的対応方法 災害時の救助・救命、避難所運営等	作新学院大学第2教室棟	講師 稲葉理事長
07月03日 作新学院大学 連続公開授業	第7回 防災・減災の訓練実習 災害図上訓練(DIG)の実践	作新学院大学第2教室棟	講師 稲葉理事長 専門役 福田理事
05月20日	那須町小羽入自治会 防災講話	小羽入公民館	講師 稲葉理事長
05月21日 黒磯地区自治会	黒磯七区自治会自主防災訓練		
05月28日 作新学院大学	H29年度 第1回 防災士養成研修講座	中央研究棟 第1会議室	講師 稲葉理事長 専門役 福田理事
06月04日 真岡市	H29年度 大和田地区土砂災害 防災避難訓練(DIG)	大和田自治公民館	田崎事務局長 他4名
07月15日 那須塩原市大山地区コミュニティ運営委員会	HUG訓練	那須塩原市大山公民館	
07月22日 石橋公民館	HUG訓練	下野市立石橋公民館	
07月28日 高原公民館	防災講話	那須町 高原公民館	
08月05日 下野新聞社	第1回 とちぎ防災マスター育成講座 防災士の役割と身近でできる防災対策	ニューみくら会議室	
08月08日 JAしおのや	J Aしおのや防災講演	J Aしおのや交流館	防災講話と防災グッズづくり
08月18日 栃木県消防防災課	第1回 自主防災組織リーダー 育成研修会	矢板市文化会館小ホール	HUG・DIG訓練
08月19日 宇都宮市	H29年度 宇都宮市総合防災訓練	宇都宮城址公園 他	
08月19日 下野新聞社	第2回 とちぎ防災マスター育成講座	ニューみくら	災害図上訓練 (気象庁ワークショップ)

## ◆今後予定されているイベント

日 時	主催 or 企画	イベント名	場 所
08月22日 ～23日	県民生部危機管理課	第1回避難所生活体験プログラム	旧・佐野市立野上小学校 体育館 参加者：40人ほど
08月24日	那須町伊王野公民館	HUG訓練	伊王野基幹集落センター
08月26日 ～27日	下野新聞社	第3回 とちぎ防災マスター育成講座	HUG訓練 避難所生活体験 ニューみくら会議室・体育館
08月27日	栃木県・大田原市	栃木県・大田原市総合防災訓練	大田原市中田原工業団地
09月03日	大沢地区自主防災会 連絡協議会	HUG訓練（大沢地区自主防災会）	日光市役所大沢地区センター 参加者：約40名
09月28日	宇都宮市赤十字奉仕団	HUG訓練	河内総合福祉センター 2F 河内分団
10月07日	NPO法人 栃木県防災士会	設立10周年記念事業	ニューみくら（宇都宮市） 記念講演 「原子力は鬼子か？（仮題）」
10月24日	県消防防災課	第2回自主防災組織リーダー 育成研修会	栃木県庁本館 6F 大会議室2
11月02日 ～03日	NPO法人 日本防災士 北関東連絡協議会	災害被災地の視察	宮城県名取市周辺
11月07日	母親クラブ	防災講演	栃木県子ども科学博物館 乳幼児と共に
11月12日	栃木市国際交流協会	HUG研修	栃木市中央小学校
11月18日	下野市	外国人相手の防災教室	未定
12月07日	県消防防災課	第3回自主防災組織リーダー 育成研修会	栃木市役所 3F 正庁 DIG訓練 HUG訓練
12月10日	宇都宮市陽東地区自治会	HUG訓練	未定

## ◆ *Information*

・栃木県防災士会のネーム入りベストを販売します。

ご希望の方は添付の申込用紙にて事務局（Fax）または、須藤（E mail）までご連絡願います。締め切りは勝手ながら9月末までとさせて頂きます。

### ※**栃木県防災士会からのお願い**

1、各団体や行政側より**防災に関する研修会や災害訓練の要望が多く入って来るようになり対応に追われている状況です。**

**会員の皆様で時間的に余裕のある方の応援をお願いできると助かります。**

参加可能な方は下記までお電話 or メールをいただけますでしょうか。よろしくお願ひ申し上げます

2、防災士会事務局より会員の皆様への連絡や書類の発送等業務が立て込んで参りましたので、**差支えなければ会員の皆様のPCアドレス**を下記事務局まで連絡して頂けると幸いでございます

(前回の防災士会便りを郵送で受け取られた方々へのお願いです)

3、栃木県防災士会の活動状況はWebでも検索出来ます。 <http://bousaishi-tochigi.org/aaea/>

4、防災士会会員の皆様へ

ご意見・お問合せ・情報の提供、等がございましたら下記まで一報いただけますようお願い申し上げます。

**連絡先 栃木県防災士会 事務局 (東亜サーバイ株内)**

**窓口 事務局長 田崎 瑞穂**

**携帯 090-2653-3116**

**Fax 028-636-8286**

**メール sudoh47@sea.plala.or.jp (防災士会だよりを編集している須藤のアドレス)**